

登録される建造物について

1. 松村家住宅とジョーキュウ醤油について

松村家住宅とジョーキュウ醤油は、いずれも福岡市中央区大名に、通りを隔て向かい合って所在する。

ジョーキュウ醤油は安政2年(1855)創業の醤油醸造元。現在の社地の西側に松村家本家があり、かつては楠屋の屋号をもち質屋、酒造のほか多くの品を扱う有力商家であった。松村家6代目、半平(半兵衛)が始めた醤油醸造業を実子である半助(後に半次郎)に継がせた。半助は安政4年に分家し、以後、6代を経て現在に至る。

「楠屋醤油」は大正15年(1926)に「合名会社松村久(まつむらきゅう)商店」、平成元年(1989)に「株式会社ジョーキュウ」に組織変更される。明治43年(1910)に登録された商標「上久」は醤油醸造業として3代目である松村久吉の名前から「久」をとり、上級の意味をこめて命名されたという。

松村家及びジョーキュウ醤油のある大名は、福岡城の東側に位置し、福岡藩の重臣の屋敷地があったことに由来する地名とされる。現在、(株)ジョーキュウ本社のある場所は福岡城から東に那珂川まで延びていた堀の内、西側の中堀(紺屋町堀)南側の堀際にあたる。敷地南側の道路の屈曲も、城下町としての町割りを現在に伝えるものである。中堀は大正14年に埋め立てられ、その跡地に、昭和11年に3代目久吉の自宅として建てられたのが、松村家住宅である。

今回、登録文化財となるのは、(株)ジョーキュウの本社敷地に残る江戸時代～昭和前期の座敷、土蔵、仕込蔵など建造物6件及び工作物(煙突)1件、昭和11年に建てられた松村家住宅の建造物3件と工作物(門及び塀)1件の計11件である。

文化庁から示された全体の特徴等は次の通り。

「醤油醸造所の施設と、その創業家筋である松村家の住宅である。松村家住宅は住宅改良会の設計になり、主屋の外観は出窓を多く設けて庇を重ね、軽やかで豊かな表情を見せる。通りに面して、独立した積極施設である洋館や門及び塀を建てる。道を挟んだ敷地には、醤油醸造に関連した施設が建ち並ぶ。中心となる仕込蔵は大型の土蔵で、現在でも醸造に使われている象徴的な建物である。表座敷や裏座敷といったもとの居室部のほか、土蔵群や煉瓦造の煙突、敷地内に残る小社などもあわせて保存を図る。」

2. 登録物件の概要及び個別説明

(1) 松村家住宅

所在地: 福岡市中央区大名二丁目1-16

所有者: (株)ショーソン・ほか個人

名称	構造形式及び大きさ	建築面積 (㎡)	建築年代	登録 基準	特徴・評価
① まつむらけじゅうたくしゅおく 松村家住宅 主屋	木造2階建、瓦葺	163	昭和11年 (1936)	1	もと福岡城の中堀であった敷地に所在する。設計は住宅改良会で、接客と居住を明瞭に区分し、水回りは渡廊下を介した別棟とする。床上の居室を広めて採光を考慮し、特に二階には広い縁を設ける。外観も出窓を多く設けて庇を重ね、軽やかで豊かな表情を見せる。
② まつむらけじゅうたくようかん 松村家住宅 洋館	木造平屋建、瓦葺	17	昭和11年 (1936)	1	通りに接して主屋の南に建つ応接用の洋館。寄棟造棧瓦葺で、各面に開口をとり、もとは西にパーゴラを附属していた。外壁はモルタル塗の粗面仕上げで、道路側は塀を連続させて街路景観を整える。接客空間を独立した洋間とする、和洋併設住宅の好例である。
③ まつむらけじゅうたくどぞう 松村家住宅 土蔵	土蔵造平屋建、瓦葺	12	昭和11年 (1936)	1	敷地の北西隅に位置し、南北棟で建つ二階建土蔵で、主屋の勝手口から坪庭を介した東面に出入口を設けて庇を付ける。小屋は登梁形式として内法を確保し、二階の収納の便を図る。床下換気口のグリル金物には星形の幾何学的装飾を飾り、近代的な趣を見せる。
④ まつむらけじゅうたくもんおよへい 松村家住宅 門及び塀	門 木造、間口2.9m 塀 煉瓦造、総延長8.8m		昭和11年 (1936)	1	敷地の南辺を画する門と塀。門は棟門で西方に引違の格子戸と両開の板戸を持ち、東側に潜りの板戸を開く。門の左右に折れ曲がり続く塀は煉瓦大のブロック積で、表面を洋館と同様にモルタル塗の粗面仕上げとする。通りの景観に寄与する、瀟洒な意匠の門塀である。

(2) ジョーキュウ醤油

所在地:福岡市中央区大名一丁目12-15

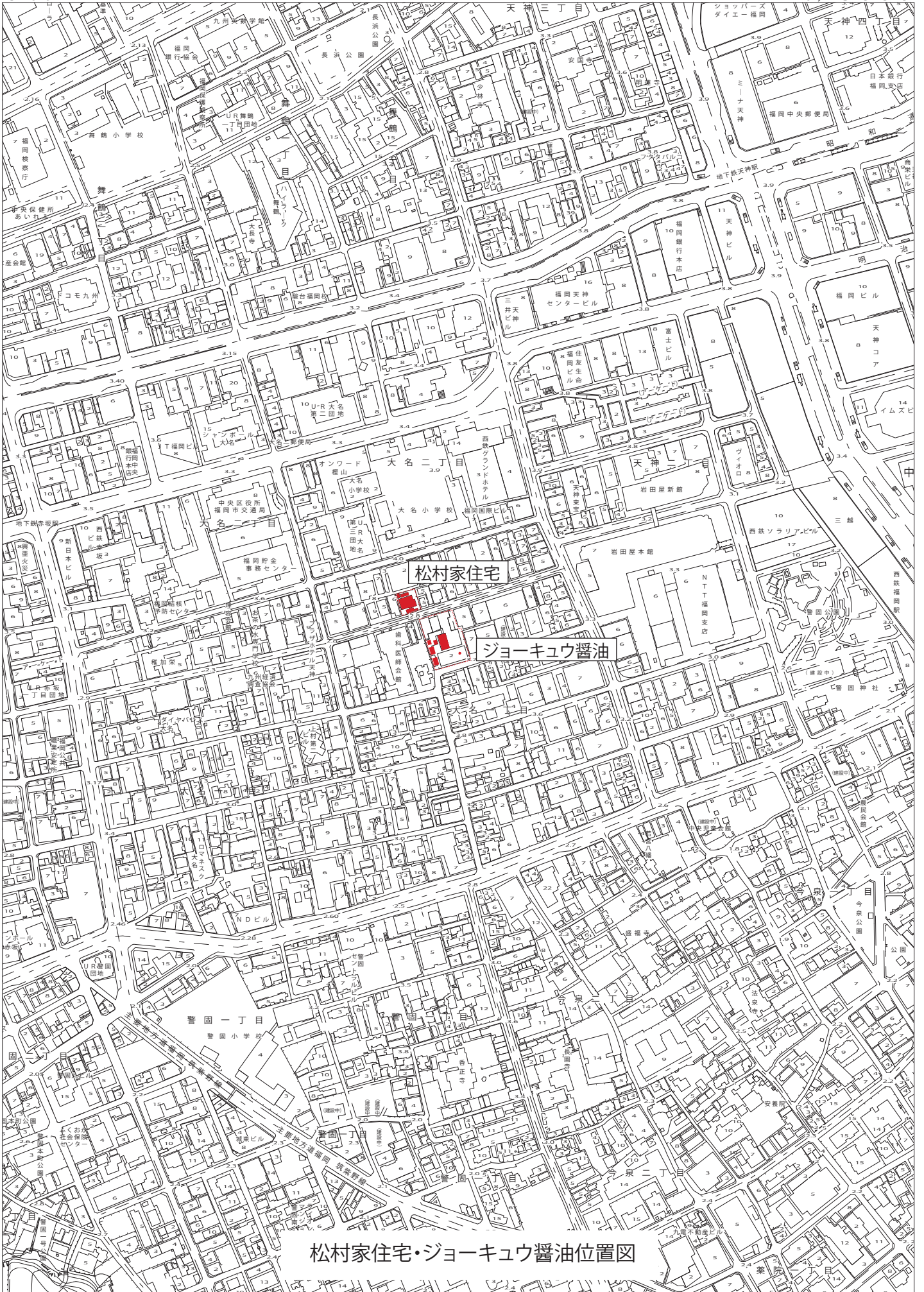
所有者:(株)ジョーキュウ

名称	構造形式及び大きさ	建築面積 (m ²)	建築年代	登録基準	特徴・評価
① ジョーキュウ醤油 おもてぎしき 表座敷	木造2階建、瓦葺	44	明治前期	1	敷地南西隅に位置する木造二階建、切妻造棧瓦葺の接客用座敷で、南北に下屋を設けて縁とする。上下階とも二室の座敷からなり、一階の南室を八畳主室として座敷飾りを備え、二階北室は窓辺に高欄を設ける。醸造所の一隅を占める、良質な接客施設である。
② ジョーキュウ醤油 うらぎしき 裏座敷	木造2階建、瓦葺	38	昭和前期	1	敷地西辺、表座敷の北側に建つ。木造二階建で一階の三方に下屋の廊下を廻らし、上下階とも座敷二室を配する。一階の座敷飾は平書院の手前に略三角形の棚板を付けて付書院風に見せ、また床脇の地袋、天袋を台形平面とするなど昭和期らしい凝った意匠となる。
③ ジョーキュウ醤油 なんどぐら 納戸蔵	土蔵造2階建、瓦葺	23	明治中期	1	敷地西辺で、裏座敷の北側に建ち、縁で接続する。土蔵造二階建、切妻造棧瓦葺で、登り梁と和小屋を組合わせた小屋組を持つ。かつては米蔵と呼ばれ、裏座敷建築後に納戸として使用されるようになったと考えられる。醸造所の家政部分をしのばせる遺構である。
④ ジョーキュウ醤油 こめぐら 米蔵	土蔵造2階建、瓦葺	19	明治4年 (1871)	1	納戸蔵の東、敷地の中央に建つ二階建土蔵。南北棟で、南の中庭に向けて銅板葺の庇を付けた出入口を設ける。内部の壁は板張、小屋組は登り梁として、二階の南北に窓をあける。現在は醤油醸造に使用する道具類を納めており、醸造所の敷地景観に寄与している。
⑤ ジョーキュウ醤油 しこみぐら 仕込蔵	土蔵造平屋建、瓦葺	123	文久2年 (1862)	1	敷地の中央、米蔵の東側に南北棟で建つ大型の土蔵で、切妻造棧瓦葺である。建ちの高い平屋建で、南半部には仕込み桶の上から作業ができるよう仮設的な床を張る。和小屋の小屋組の下に天井を張る。仕込蔵の特徴をよく備えた、醤油醸造所を象徴する建物である。
⑥ ジョーキュウ醤油 わかみやじんじゃ 若宮神社	木造、銅板葺	0.3	寛政4年 (1792)	1	敷地東辺中央の切石積壇上に建つ、一間社見世棚造、銅板葺で、見世棚社殿には珍しい切妻造妻入とする。身舎は板壁とし、庇柱を木鼻付頭貫で固め、柱上に大斗と実肘木を載せて虹梁と桁を受け、虹梁上に葦股を置く。簡素な小社ながら細部に時代的特徴をよく示す。
⑦ ジョーキュウ醤油 えんとつ 煙突	煉瓦造、高さ約9.5m	2.5	大正4年 (1915) (平成17年改修)	2	敷地南東の火入れ場に残る煉瓦造煙突。底部は一辺67cmの八角形平面で基礎を二段に迫り出し、高さ9.5mである。躯体はイギリス積で、久留米の荒木窯業の施工と伝わる。震災で高さを減じているが醸造所を象徴する施設として価値がある。

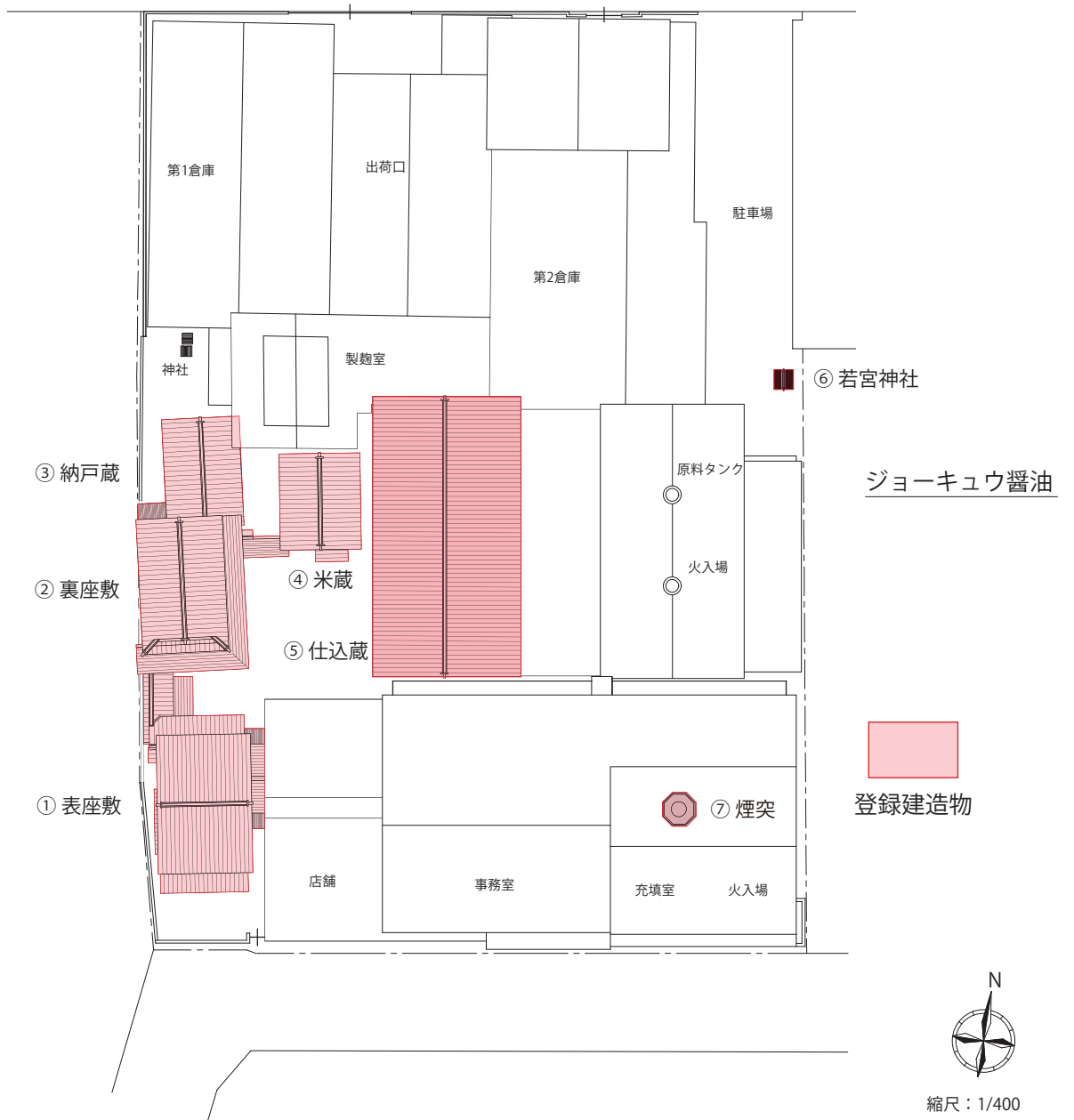
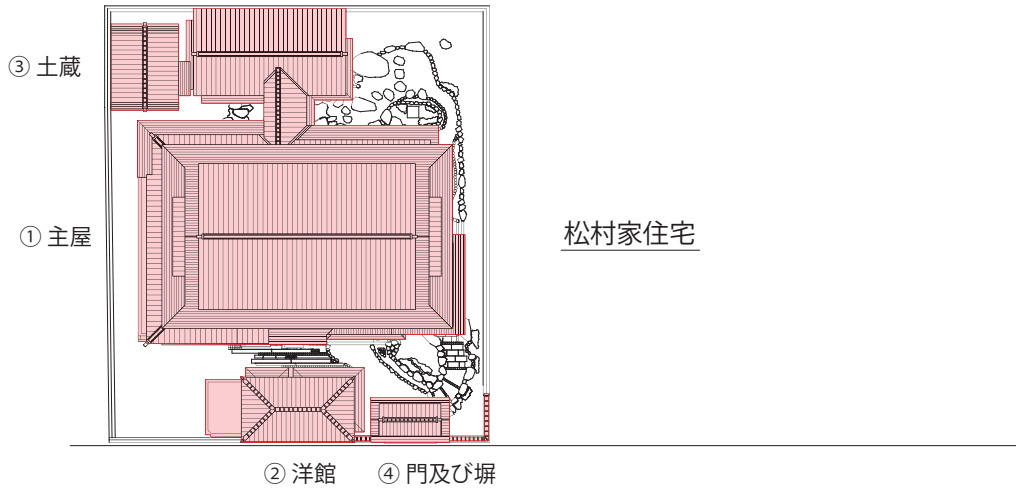
国登録基準

築後50年を経過した建物で

1. 国土の歴史的景観に寄与しているもの
2. 造形の規範となっているもの
3. 再現することが容易でないもの



松村家住宅・ジョーキユウ醤油位置図



ジョーキュウ醤油・松村家住宅 配置図
 ※(株)河上建築事務所作成の図面を一部改変



写真01
松村家住宅 全景



写真02
松村家住宅
主屋 玄関まわり



写真03
松村家住宅
主屋 1階内部

(撮影 大塚紘雅)



写真04
松村家住宅
主屋 2階内部



写真05
松村家住宅
洋館 北西面



写真06
松村家住宅
洋館 内部

(撮影 大塚紘雅)



写真07
松村家住宅
土蔵 外部



写真08
松村家住宅
土蔵 小屋組



写真09
松村家住宅
門及び塀



写真10
ジョーキュウ醤油外部と
表座敷外部



写真11
ジョーキュウ醤油
表座敷 北面



写真12
ジョーキュウ醤油
表座敷 1階内部

(撮影 大塚紘雅)



写真13
ジョーキュウ醤油
表座敷・納戸蔵・米蔵 外部



写真14
ジョーキュウ醤油
裏座敷 1階内部

(撮影 大塚紘雅)



写真15
ジョーキュウ醤油
米蔵 外部



写真16
ジョーキュウ醤油
米蔵 小屋組



写真17
ジョーキュウ醤油
仕込蔵 外部



写真18
ジョーキュウ醤油
仕込蔵 内部

(撮影 大塚紘雅)



写真19
ジョーキュウ醤油
若宮神社 全景



写真20
ジョーキュウ醤油
煙突

(撮影 大塚紘雅)



写真21
ジョーキュウ醤油
煙突

※ 国の登録文化財とは

文化財の「登録」制度が、厳しい規制の下に文化財の保存を図る「指定」制度と最も異なる点は、文化財を比較的自由に活用できる点にあります。かけがえのない貴重な文化財を資産として生かすことが可能となり、建造物については外観を大きく変更しなければ目的に合わせた内部の改装などは認められるという、緩やかな文化財保護制度です。

建造物の登録基準は築後 50 年を経過した建物で、①国土の歴史的景観に寄与しているもの、②造形の規範となっているもの、③再現することが容易でないものとされています。

これまで平成 8 年の制度発足以来、今回の登録によって全国で 1 万件を超える建物が登録有形文化財（建造物）として登録され、保護・活用が図られています。

* 福岡市内のこれまでの国登録有形文化財（建造物） 15 件

福岡市内の国登録有形文化財一覧

	名称	所在地	登録年月日
1	旧マイヅルみそ 店舗兼主屋	福岡市西区姪の浜	平成 19 年 12 月 5 日
2	旧マイヅルみそ 原料蔵	福岡市西区姪の浜	平成 19 年 12 月 5 日
3	箱嶋家住宅 主屋	福岡市東区馬出	平成 19 年 12 月 5 日
4	旅館 鹿島本館 管理棟	福岡市博多区冷泉町	平成 19 年 5 月 15 日
5	旅館 鹿島本館 客室棟	福岡市博多区冷泉町	平成 19 年 5 月 15 日
6	旅館 鹿島本館 表門及び塀	福岡市博多区冷泉町	平成 19 年 5 月 15 日
7	石蔵酒造 事務所兼主屋	福岡市博多区堅粕	平成 23 年 1 月 26 日
8	石蔵酒造 主倉	福岡市博多区堅粕	平成 23 年 1 月 26 日
9	石蔵酒造 西倉及び旧精米所	福岡市博多区堅粕	平成 23 年 1 月 26 日
10	高橋家住宅 店舗兼主屋	福岡市博多区下呉服町	平成 23 年 1 月 26 日
11	吉住家住宅 主屋	福岡市博多区上呉服町	平成 23 年 1 月 26 日
12	浄福寺 鐘楼	福岡市南区桜原	平成 23 年 1 月 26 日
13	筑紫女学園 洗心庵	福岡市中央区警固	平成 23 年 10 月 28 日
14	筑紫女学園 待合	福岡市中央区警固	平成 23 年 10 月 28 日
15	筑紫女学園 香風亭	福岡市中央区警固	平成 23 年 10 月 28 日

今回の登録により 26 件となります。

* 福岡県内の国登録有形文化財（建造物）件数 123 件

（平成 26 年 11 月 21 日現在 今回登録される物件も含まれます）